

茨城経協

Ibaraki Employers' Association

<http://www.ikk.or.jp> Email info@ikk.or.jp

一般社団法人茨城県経営者協会



茨城経協



CONTENTS

- 01 TOP INTERVIEW Vol.34
「職分は一心不乱と心得るべき」
株式会社関プレス 代表取締役社長 関正克氏
- 05 茨城産業会議が第1回拡大総会開く
～新議長に渡邊武氏（茨城県中小企業団体中央会会长）が就任～
- 06 委員会報告
政策／経営教育
- 07 支部だより
県北
- 08 新入会員の紹介
- 09 寄付講座 常磐大学での講演録
「地域における公共交通の存在意義」
茨城交通株式会社 代表取締役社長 任田正史氏
「旭物産の幸せの経営」
株式会社旭物産 代表取締役社長 林正二氏
- 11 NPO情報Vol.215 茨城NPOセンター・コモンズ代表理事 横田能洋
「いつでも、どこでも、だれでも防災」
- 12 <寄稿>株式会社マイナビ茨城支社 支社長 崔正憲
9月就職戦線レポート 「2019年卒の傾向、そして2020年卒の展望」

株式会社関プレス 代表取締役社長

関 正 克 氏

聴き手：葛田一雄氏（ケイツーマネジメント代表）

会社概要

- 所在地／〒316-0033
日立市千石町4丁目3番20
- 資本金／4,200万円
- 業種／金属加工業
- HP／<http://www.sekipress.jp/>



職分は一心不乱と心得るべき

【関プレス HP より】

多品種少量生産対応の単発プレス加工ラインを軸に、自動順送ライン・3次元トランスファーライン・ラインペーサーロボットラインと、最新機械設備を活かし、量産まで対応した生産体制が強みです。

機械能力は、15t～300tまで保有しており、小物から大物部品まで幅広い製品加工が可能です。

短納期での金型製作（単発・順送）サンプル出しのスピード対応では、取引先の評価は高く、「困った時の関プレス、関プレスに頼めば何とかしてくれる」という顧客評価を大切にし、モノづくりに磨きを掛けております。

日立市千石町にプレスの加工技術で世界をリードする企業がある。株式会社関プレスである。『はばたく中小企業・小規模事業者300社』（経済産業省中小企業庁2016年6月）に選定され、第一回常陽ビジネスアワード（2012年）の最優秀賞受賞企業でもある。同賞受賞が技術開発の財源の確保に繋がった。割裂（わりさき）工法を国内・海外に技術発信（特許取得・商標登録済）し、オンリーワン技術を武器にグローバル進出・生産体制の構築を図っている。

三代目経営者の役割は

自動車関連が80パーセントの企業です。日立様の事業所様に大変お世話になっていま

す。メインはオートモティブシステムズ、佐和工場です。全体の半分は日立グループですが、北は青森、南は大分まで多くのメーカーに対応しています。今、力を入れているのが環境と安全です。将来の自動車産業が力を入れる分野です。

私は、二代目と四代目の楔（くさび）役、一番大事な代だと思っています。いかに次に繋げるか、私の代では技術開発に尽力しつつリスクヘッジしていきたいと思います。

「俺はゼロから1を作ってきた。二代目は1を100にすればいい。お前は101から200じゃあ続かないぞ。お前がゼロから1を作らないと次には続かないぞ」

創業者である祖父の言葉で



きっかけの常陽ビジネスアワード

す。私は、父とも性格が違う、スタイルも違います。リーマン破たんを迎えて、当然大変ダメージを被りました。私が社長になって一つの工場を閉鎖してリストラを決断しました。リーマン破たんで体力を消耗して、東日本大震災で被害を受けて、全ての資源が駄目になりました。そこでスイッチが入りました。私がもう一回、何か新しいものをゼロから作らないと事業は続かないと思いました。

そこで、割裂工法が

私どもが考えて生み出した工法です。創業者の言葉が加工技術に繋がっています。地震後、世の中は復興です。私は復興後が大事だと考えました。「今ここで、ゼロから1というものを、こういう環境だからこそ、必ずものにできる何かをやろう」

皆に内緒で、3名だけで新た

な加工技術を始めました。駄目だったら倒産と腹を決めていました。トップがこれで駄目だったらというのは、人によっては何を無責任なことをと言いますけど、私はそれくらいの覚悟で技術に注力しました。

いよいよお金が続かなくなつた時が常陽銀行さんのビジネスアワード第一回目でした。チャレンジしました。ピンと来たのがビジネスアワードのロゴマークです。割裂でした。

「この賞でトップをとれなかったらやめる。信じ抜く思いが最優秀賞に繋がって、開発が始動できた。オリジナルのオンリーワンのプレス加工技術である割裂が看板、ブランドになった。町工場はイコール社長ということを言う人もいるが、イコール社長ではなく技術。割裂イコール関プレスというようにブランド化すれば、従業員が路頭に迷わないですむ。関プレスのブランドは割裂技

術で商売が続けられる」

プレスの金型設計の他、もう1つの売りは

もう一つの売りはロボット設計製作です。良いものがあっても前後が尖った技術についていけないと何にもなりません。割裂加工技術と並行して前後の生産技術、ロボットIoTなどです。スタッフの意識が変わると雇用に繋がります。今年も4名大卒と高卒2名、日立特別支援学校から知的障害者も受け入れました。来年も受け入れるつもりです。そういった方にも働きやすい環境というものを目指していきたいと思っています。

町工場が特許の開発から技術開発まで何から何までというのは、県北地区ではなかなかないと思います。自動車、二輪、重電、建材、コネクターさまざまな分野で割裂のご注文いただいている。その分野の実績となれば確実に広がります。そこまでは大変ですけれどもね。

「新しい加工工法だけに、実績になるまでは気が遠くなる努力や色んなことがある。一回それが採用となれば実績が広がる。価値を認めてくれるメーカーとしっかりやっていく」

今は、2020年以降のことを考えています。技術、ブランドの向上をはかけて経済活動を通じて地域に貢献したいと考えています。スタッフが夢や



希望をもって、子どもたちから憧れられる町工場を目指したいのです。そのためには急がず、身の丈に合った成長を心掛けます。割裂をさらに加速させるために、新しい加工技術を発信することによって割裂技術がまた見直されるでしょう。波及効果が倍になるということを目指して1年半考えて作った技術を5月末に発信したのですが、技術で次に繋げようということをやっています。

関社長の想い「前へ」

温故知新の技術が、割裂発想の原点にあるのではないかと思いました。

古くて新しいことに挑戦したいと思っています。

「シンプルで、あるのではないか、こんな作り方が。頭を切り替えて、割裂にたどり着いた」

「割つただけなのでしょというようなことを言われますけれども、私はそれが狙いです。」

わかりやすくシンプルで、これこそが発明です。

『さけるチーズ』から発想しました。「これだ！」と思いました。地震の直後で、リーマン破たん、100年に一度の後の1,000年に一度、復興をどうしようかと、自分なりに追い込まれていました。人間、夢中に信じ抜いて一つのことをやろうと思うと、家族も犠牲にするかもしれません。色々なことがありました。他のスタッフにも、何を社長やっているのだろうと言われました。

「一心不乱に、この技術を世に出さなければいけない、そうしないと会社が存続できない、やり抜くしかない」

その時の心境が、前向きにさせたのでしょう。やった人にしか伝えられないですよね。経験して、何かを作り上げてやってきた方は皆そうだったのではないでしょうか。

ミクロのレベル、nanosecond

の世界の技術がよぎっているのではないかなという気がします。

次の次はそこです。

「単に新規技術だけのM&Aではなくて、ネクスト・ステージがあるかもしれない。私どもが楔になって事業を存続させたい」

お互いにやっていけるような、その入り口となる企業になって行ければいいなと思っています。

裂いても強度が弱くなってしまう困ります。応力に対するコントロールが力点でしょうか。

「プロですから、加工プレスで裂く。クラックになっちゃったら駄目。一番お金をかけて、一番眠れず集中したのが刃先」

最適な金型の刃のアール、ばらつきもプラスマイナス100分の2まで抑えました。割つて裂くとクラックでどうしようもないとか、色んな方に言われました。大学のある先生には「あんなの邪道だよ」と批判されました。当たり前の話です。言われて当たり前ですし、反論もできません。私もそう思っていたものですから。発明は、打たれ強く、真摯に受け止めてです。

「実用化できるレベルまで追い込んでいくか。身体も追い込んだし、実際にやり遂げた」

加工効果というのはある程度わかっていましたが、世の中には割裂の加工効果を生かし

て物を作ってくれというお客様がいたのは想定外でした。

駆り立てるもの、降りてきたものがあったのですね。

降りてきたものがありました。

「創業者が降りたかもしれない。実は割って裂いてない。流動成形なので曲げ絞りと一緒に」

割って裂くというものにわざとしました。私は3次元一体成型だと言い続けてやつてきたのですが、よくよく考えたら2.5次元かとも思います。コラボして発想し、展開しないとこの技術は生まれなかつたでしょう。

「流動成形にならないように、名前も割って裂く。割って裂いた部分が鋸びにくい」

国の機関が、何で鋸びにくいのかを今調べています。私どもは聞かれても説明できません。単純にこうなっています

いうものもいっぱいあります。

「3年前にサンプルを貰ったが、周りは酸化してしまっているのだけど、真ん中の裂いた部分が酸化しないんだよ。組織がたぶんガッと詰まっているのでしょうか」、詰まった後が何でそうなっているのかを解析している国機関もあります。

当たり前のことを当たり前にやるという、一番難しいことに挑戦する。お名前も「己に正しく」あれと。

私の字はまさにそれで付けられた。うちでは息子の名前を祖父が付けるようになっています。

「私の名前は祖父が付けた。息子の名前は父が付けた」

息子の子どもには私が付けます。私の名前は暗示されていたのか、克服をして行けという意味なのかなと、感謝しています。

職分は一心不乱と心得るべき第一の事

温故知新の精神に職人の眞のリーダーをみた想いである。荘園時代のことであるが、田畠を耕作する農家と並んで、手工業が独立する。「宇津保物語吹上の巻」に鋳物師と鍛冶屋の記述がある。鋳物師は、金属を溶かして鋳造を行う。鍛冶屋は銀や黄金の鍛冶を行う。

江戸中期には「仲間」ができる。「仲間」は技術者（職人）集団であり、職人の利益を守る集団である。仲間が利益を守る第一の方法は技術の独占であった。当時の職人達の処世訓が大衆本にある。1、2を引用したい。「一. 職分は一心不乱と心得るべき第一の事 二. 律儀と正直と丁寧との三つを中心とするべき事」

株式会社関プレスは、世界初の工法「割裂（わりさき）加工技術」の開発に成功し、金属加工の応用可能性を拡大した。航空・宇宙、医療等様々な産業において活用できる可能性を持った技術の企業である。

例えば、決定した事について異議がある場合は、2～3通りの意見を持って発言してもらい、更にレベルアップし発展的な考え方で前向きに仕事を進める為にはどうすれば良いかをとことん話し合うということです。



多岐に亘る同社の製品

茨城産業会議が第1回拡大総会開く

～新議長に渡邊武氏(茨城県中小企業団体中央会会长)が就任～

茨城産業会議（鬼澤邦夫議長）は、7月26日（木）、水戸市・水戸京成ホテルで本年度第1回目の総会を開催した。

議案審議では、平成29年度の事業活動報告及び収支決算、

平成31年度県政要望の取りまとめスケジュール、平成30年度の事業方針と収支予算案が承認された。

茨城県政への提言・要望事項の取りまとめを行う企画調整

委員会については、委員長に高橋日出男氏（当協会副会長）、副委員長に中川喜久治氏（商工会議所連合会副会長）が就任、10月中に要望書を提出するスケジュールが報告された。

続いて、茨城産業

会議の議長について、鬼澤邦夫議長から「渡邊武氏（茨城県中小企業団体中央会会长・茨城県信用組合理事長）に次の議長をお願いしたい」との提案があり、全会一致で承認された。

議事終了後、県政策企画部長の盛谷幸一郎氏より「新しい茨城づくりに向けて」、県産業戦略部長の小泉元伸氏より「産業戦略部の主要施策について」と題して、最新の取組みなどが紹介され、つくば霞ヶ浦りんりんロードの延長などについて意見が交わされた。



就任の挨拶を行なう渡邊武新議長



盛谷幸一郎氏の講演

茨城産業会議は、茨城県経営者協会、茨城県商工会議所連合会（会長：大久保博之氏）、茨城県商工会連合会（会長：外山崇行氏）、茨城県中小企業団体中央会（会長：渡邊武氏）の4団体で構成。常陽地域研究センターが協力団体として参加し、産業政策やインフラ整備、地域問題など重要事項について経済界の意見を集約し、提言をしております。また、大学との产学連携事業や各種団体との関係強化を図っております。議長・事務局は4団体の持ち回りで運営しておりますので、ご意見等がございましたら事務局までご一報ください。

事務局：茨城県中小企業団体中央会内（新名、中嶋）
TEL 029-224-8030 FAX 029-224-6446

心を込めて、信頼できるカーライフ
茨城トヨタ

PRIUS PHV



茨城トヨタ自動車株式会社

水戸市千波町1887 TEL 0120-090110
<https://www.ibaraki-toyota.jp/>

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ。

TOYOTA

政策委員会

第1回政策委員会を開催 重点事業・新規事業の進捗等について検討



7月30日（月）、第1回政策委員会（正副会長、各支部長、各委員長等協会主要役員）が、水戸市三の丸・水戸京成ホテルにて開催され、重点事業・新規事業の進捗状況等について意見交換が行われた。

加子茂会長（（株）日立ライフ取締役社長）が開会にあたり「会長就任後に県北地区支部、常陸・那珂地区支部の支部総会に出席させていただき、支部会員の方々と交流する事ができ

た。会員の要望に応えられるよう、本日も忌憚のないご意見をお願いしたい」との挨拶があった。高橋日出男副会長（（株）協立製作所代表取締役社長）が議長に就き、各事業分野についての報告・協議がなされた。

まず、会務報告で、収入・支出とも順調に推移している件の報告があった。次に会員増強活動について事務局より、「24社の新入会員、11社の退会で13社増加し1,216社となり、今年度の目標会員数1,250社まで残り34社となった。今後も年度目標達成に向けてご協力をお願いしたい。また、会員訪問などから寄せられた会員の声に応える事業の充実に努

めたい」との報告がなされた。

また、平成30年度県政要望について、事務局より、産業政策委員会や会員ニーズ調査部会での検討を経て作成された要望案の説明があり、原案どおり県に要望していく事で承認された。

次に、重点事業・新規事業の進捗状況について、事務局から、重点事業では①交流・連携機会の拡充、②会報“茨城経協”充実、新規事業として、①“働き方改革”的調査・研究レポートの発刊、②産学懇談会の充実、③“いばらき塾”的開催、④“企業行動憲章”的改定の説明があり、原案どおり承認された。

その後、出席委員から、自社・業界・地域の状況などについて意見交換がなされた。

会議終了後、鬼澤邦夫前会長の慰労と新委員の歓迎を目的とした交流懇親会が開催された。

経営教育委員会

第8期 第一種・第二種衛生管理者受験対策のための対策講座を開催

経営教育委員会（委員長 植木誠氏（株）筑波銀行取締役会長）は8月7日（火）～8日（水）の2日間、恒例の“第一種・第二種衛生管理者受験のための対策講座”を開催。国家資格取得支援の位置づけで、今年で8年目を迎える同講座には、第一種48名・第二種22名・特例一種2名の計72名の参加があり、昨年に比べ20名の増加となった。これは県外からの参加者が増えたためで、当講座の認知度が高まっている模様。会場は水戸プラザホテル。

例年9月（本年は9/30実施予定）に茨城県内で行われる出張特別試験日程にあわせ、講師は初回よりご指導頂いている（株）ウェルネット専任講師・柴田珠美氏より無駄を省きポイントを押さえた解説と、実際の試験問題を解きながら進められる講義が好評を得ている。ここ1～2年で出題傾向に変化が出ており、同社発行のオリジナルテキストでは

都度改訂され最新の出題傾向も踏まえられており、参加者からの評価も高い。



県北地区支部

支部総会を開催



県北地区支部（支部長 大原弘彰氏（株）茨城サービスエンジニアリング代表取締役社長）は7月18日（水）、「五浦観光ホテル別館大観荘」（北茨城市大津町）において、平成30年度支部総会を開催した。参加人数は51名。

当日の司会進行役を小川幸則幹事長（小川産業（株）代表取締役）が務め、開会にあたり、大原支部長と加子茂会長（（株）日立ライフ取締役社長）より挨拶がなされた。

当日の次第に沿って、平成29年度支部活動報告ならびに平成30年度支部活動計画を村田文彦幹事（（株）五浦観光ホテル代表取締役副社長）より説明がなされ、満場一致で承認された。続いて、平成30年度経営者協会の重点項目について、澤畠慎志副会長より説明がなされた。

本年度の記念講演では、「元NHK『今日の健康』キャスターが伝授！～病気の予防につながる食事と運動とは？～」と題し、元NHK キャスターの久田直子氏にご講演頂いた。

講演の中で久田氏は、「『今日の健康』は、国内放送の中でも稀に見る長寿番組であり、その歴史は50年を数える。本日の講演内容は、国内でも最先端の医療現場にいる医者の方々を中心に取材してきたことをエビデンスとしている。例えば、男性は女性に比べ、ホルモンバ

ランスの関係で血管に傷がつきやすく、病気になりやすい。従って、脳卒中や心筋梗塞のような病気を引き起こしやすい。これを未然に防ぐためにも、動脈硬化の予防が大切である。これには大きく分けて、食生活や運動の見直しが必須となる。先ず、食生活では、はじめに野菜を摂取すること。これは、血中の急激な血糖値の上昇を抑えることに作用する。また運動に関しては、頭の中で100から7を引き算しながらジョギングをする。これは、2つのことを同時に取り入れることにより、認知症の予防にもつながる。」など、久田氏の『今日の健康』のキャスター人生の15年間で得た、医学的情報と具体的な改善・対策について説明がなされた。

講演会終了後には、会員交流を目的とした懇親会を行い、散会となつた。

おいしい
旬の食材や祭事ごとのメニューなどを提案しています。
皆さまの豊かな食生活を応援します。

たのしい
みんなで楽しめる
体験・交流イベントも開催します。

いこい
買い物の後にちょっと休憩。
コミュニティが活発です。

出会い
人に会う、食に会う。いろいろな出会いが待っています。

KASUMI

ふれあい
カスミスタッフと地域の皆さまとの
交流が広がります。

いらっしゃいませ

カスミは買い物をするだけではなく、出会いやふれあい、発見があります。
地域のコミュニティの拠点として皆さまのご来店をお待ちしております。



新入会員紹介

サン・トックス株式会社 関東工場

■取締役製造本部長 山岡 稔幸



Data

所在地／潮来市島須3075-18
(潮来工業団地内)

T E L 0299-64-6751

業 種／プラスチックフィルム製造業

従業員／200名

Appeal point

弊社は、食品包装などに使用されるプラスチックフィルムの製造・開発・販売を行っています。1975年山口県で生産を開始、1994年には茨城県潮来市で関東工場を稼働させました。

「顧客に選ばれ続け、顧客と共に成長するサン・トックス」を経営理念とし、2017年には消費地に近い関東工場を増強しました。生産設備と同時にガスコージェネレーション設備も増強することで、更なる省エネルギー向上と環境負荷低減にも取り組んでいます。今後も労働安全衛生管理(OSHMS)、環境管理(ISO14001)、品質管理(ISO9001)の3つのマネジメントシステムを駆使し「社会から信頼され地域と共生する工場」を目指します。

株式会社 アトラス

■代表取締役 大澤 紀彦



Data

所在地／水戸市見和2丁目242-1

T E L 029-255-2200

業 種／フィットネスクラブの経営

従業員／常用従業員(正社員) 16名

Appeal point

我が社は、健康産業に従事する企業として、2001年に創業いたしました。地下1,000mより湧出する天然温泉・フィットネスマシン・スタジオプログラムを基に、普段運動から遠ざかっている方々に、運動することの楽しさ・爽快さや運動を日々の習慣とすることの大切さを理解していただき、地域の人々が健康で若々しく、美しいまま年齢を重ねられる体力づくりをお手伝いしております。

体力に不安をお持ちの方は、ぜひお気軽にご来館ください。

茨城県最低賃金が「時間額822円」に

茨城県最低賃金は、

平成30年10月1日（月）から時間額822円（26円引上げ）

に改定されました。

年齢やパート、学生アルバイトなどの雇用形態にかかわらず、県内で働くすべての労働者に適用されます。

詳しくは、茨城労働局賃金室（電話029-224-6216）または、最寄りの労働基準監督署にお尋ね下さい。

最低賃金引上げに向けた事業者への支援として、以下の相談窓口や助成金が利用できます。

ワン・ストップ無料相談窓口

茨城働き方改革推進支援センター（電話0120-971-728）

業務改善助成金

上記センターのほか、

茨城労働局雇用環境・均等室（電話029-277-8294）

キャリアアップ助成金

茨城労働局職業対策課（電話029-224-6219）

地域における公共交通の存在意義

茨城交通株式会社 代表取締役社長 任田 正史氏



現在当社は、乗合バス277台、高速バス70台、貸切バスは茨城県最大の74台、その他54台のバス車両を保有している。営業所は10ヶ所あり、路線バスの営業エリアは県央と県北の13市町村にまたがっている。当社は、バス業界全国第2位の「みちのりホールディングス」の傘下にある。

当社の目指すところの1つ目は「公共交通ネットワークの最適化」である。これは、人の移動の利便性は、バスとバスおよびバスと電車といったネットワークの親密性に基づくということであり、状況に合わせてダイヤを改正していく必要がある。2つ目は「地方創生・まちづくり政策への貢献」である。公共交通がないところは人が住まなくなる。若い人が住まなくなると、その街は活力を失ってしまうため、この点はとても重要である。3つ目は「地域の観光産業振興への貢

献」である。街の活力を生み出す要素は観光産業であるため、バス事業者としてそれに貢献することは重要である。

当社の売上構成としては、乗合バスが38.5%、高速バスが22.5%、スクールバスを含む貸切バスが14.6%、契約が11.9%、旅行業が7.5%、タクシーが0.4%などとなっている。

近年の主な取組みとして、乗合バスではマーケティング手法を導入した取り組みが奏功している。例えば、常陸大宮市の御前山から城里町を通って水戸駅に至る路線では、以前は客数の減少と運賃の上昇が負のスパイラルに陥っていたが、綿密な調査に基づいて最大39%の値下げを行ったところ、8%の增收を達成した。また、高校・大学・専門学校への通学定期券販売も出張販売によって増加している。さらに、2015年12月よりICカードを導入した。あえてSuicaやPASMOにしなかったのは、初期投資と維持費が高いため、料金の値上げにつながってしまうためである。加えて、常陸太田市での路線バス網の再編なども行っている。

高速バスでは、水戸・東京間、ひたちなか・東京間、水戸・羽田空港間といった高収益路線を拡大するとともに、新規路線の開設を積極的に行っている。

観光バスでも旅行会社への影響強化、自治体の観光誘致政策への連携などとともに、最近5、6年では20台の新車購入、化粧室付バス「葵」の導入など、積極的な取組みを行っている。

旅行では、お客様のニーズを取り入れた企画や海外インバウンド対応の専門チームのほか、笠間と益子と一緒に回る「関東やきもののライナー」の運行などの新たな取組を行っている。これらの取組みの結果、売上とEBITDA（償却前営業利益）が増加を続けており、バス事業は工夫次第で業績が伸びることを示すことができている。

また、原発事故では国土交通省からの避難輸送依頼に応え、約2,000名を輸送した。さらに、地域活性化への貢献として、TVアニメ「ガールズ&パンツァー」とのコラボや、水戸ホリーホック活性化のためのベトナム航空のチャーター、高速バスを活用した貨客混載事業、自動運転に関する実証実験や開発プロジェクトなどに取組み、地域との関わりを増やしているところである。

旭物産の幸せ経営

株式会社旭物産 代表取締役社長 林 正二氏



人は何のために働くのか。
それは幸せになるためである。

旭物産は、1971年に創業し、もやしの生産と野菜加工品の製造を行っている。従業員は700名で、そのうち正社員は200名。1日100トンの野菜を仕入れており、仕入れ先は国内各産地の契約農家などである。販売先はスーパーやコンビニ等の大手量販店である。昨年度の売上高は138億8,800万円である。

工場は3つあり、小美玉工場は“もやしの生産及び加熱調理用カット野菜”を、鉢田工場は“大根のツマの製造と促成小物の仕分け”を、水戸の本社工場は“生食用カット野菜製造”を行っている。ツマ生産は日本一である。売上高は順調に増加しており、特にリーマンショック後の不景気により、もやしの売上げが増加した。さらに、震災後、無駄が出ず手軽に食べられるほうが良いという文化が広がり、カット野菜の需要が急増した。

当社の売上の主力は、全体の

43%を占める“野菜サラダ”である。また、最近急速に伸びてきているのが、冷奴や蕎麦などの味噌に使う“カットねぎ”で全体の11%を占めており、この様な一般消費者向けのカット野菜が最近伸び続けている。

一方で、創業時から生産している“もやし”的売上金額は全体の9%に満たず、日本一の生産量である“大根のツマ”も全体の10%未満である。

なぜ、カット野菜で成長できたのだろうか。それは、品質へのこだわり、商品開発力、販売力、原料野菜の産地形成、社員教育、福利厚生の充実である。カット野菜も新しい商品を次々に販売しないとお客様に飽きられる。以前は青果売り場で一番売れるものはトマトであった。しかし、今はカット野菜がトマトを追い抜いている。

旭物産の目的は、「世の中に役に立つこと」「野菜を通じて人々を健康にし、幸せにすること」である。日本人は野菜摂取量が少ない。野菜は食べにくい食文化になったので、もっと野菜を食べてもらうことを目指しており、健康創造企業を目指している。

ビジネスモデルは「人を幸せにするビジネスモデル」である。すなわち、1. 社員とその家族の幸せ、2. すべての取引先の

幸せ、3. 地域の皆さんの幸せを目指している。商売の基本は、顧客満足の追求であるが、その前に社員満足、取引先満足がある。売上や利益は目標ではなく、すべての人たちの幸せを実現したとき、その結果として後からついてくるものである。工場見学に来られる人はできるだけ対応し、オープンしている。また、地元のスポーツチームのスポンサーになっているが、売上には貢献していない。あくまで地元を元気にしたいという気持ちに基づいている。

人間の究極の幸せとは、「人に愛されること」「人に褒められること」「人の役に立つこと」「人から必要とされること」と言われる。これは、日本理化学工業の大山泰弘会長の言葉である。学生の皆さんには、こういう人になっていただきたい。旭物産が求める人材は、勉強が好きな人、向上心がある人、謙虚な人である。

結びに、学生の皆さんに以下の言葉を贈りたい。四書五経の「大學」その伝二章には「湯之盤銘曰、苟日新、日々新、又日新」とある。松下幸之助の言葉に「今年は去年のままであってはならない。今日は昨日のままであってはならない。そして明日は今日のままであってはならない」とある。是非、一日一日を大切に過ごしていただきたい。

いつでも、どこでも、だれでも防災

茨城NPOセンター・コモンズ 代表理事 横田 能洋

今年は大阪北部の地震、西日本水害、台風被害、そして北海道の地震と大規模停電と災害が続いています。個人の生活でも事業においても、こうしたことに備えることはますます重要になっています。コモンズが昨年開発した水に浮く防災パックは注文が急増し障害者就労支援の現場が日々パッキングと発送を頑張っています。今年は、今後の災害にそなえるための具体的な手引きや訓練を広める必要があると考え、これまで常総で行ってきた自主防災の活動をマニュアルや研修キットとして商品化することにしました。

今月から「マクアケ」というクラウドファンディングのサイトで公開していますのでぜひご覧いただきたいと思います。https://www.makuakc.com/project/npo_commons/

支援金額に応じて下記のリターンがあります。私たちは、支援をいただきリターンを返すことを通じて、常総の取り組みと、「みんなの避難所づくり」という新たな防災の考え方を広めていこうと思っています。

- 1 家庭や地域で自主防災をす めるためのマニュアル
- 2 発災後3日間を乗り切るための、防災バッグ(7,000円と12,000円)
- 3 防災グッズ体験ワークショッ プ(出張)
- 4 みんなの避難所開設疑似体験ワークショップ(出張)
- 5 みんなの避難所開設訓練ワ ークショップ(出張)
- 6 みんなの避難所開設のため のマニュアル作成

1のマニュアルには、地域の災害リスクを日ごろから知っておくことや災害が近づいたときの情報入手やどのような行動を家庭や施設、職場ですか、さらには地域で「みんなの避難所づくり」を進めるための手順と実例を掲載します。2の防災パックはすでに販売している防災パックの中身をかえ、逃げるときに必要なものだけのパックと発災から数日間、トイレや睡眠、充電の不便さを軽減するものを加えたパックの2種類を用意しました。3の防災グッズ体験ワークショップはこれまでも生協や公民館の親子防災教室に出前で行ってきました。たくさんの防災用品、防災トイレがありますが直に触る機会は少ないので親子向け企画として好評です。4はカードゲーム形式で避難所運営を疑似体験するもので学校に出前することが多いです。これにより高齢者や障害者などに様々な配慮と準備が必要なことに気付きます。

今回特に力をいれたのは5の「みんなの避難所づくり」を体験する訓練の出前です。これまでの避難所は行政がどこかの施設の部屋を開放するだけです。そこに早めに避難をとよびかけても、多くの人はよほど危険を感じるまでは動こうとせず、それが逃げ遅れにつながります。常総の水害の時もそうでしたし、障害のある方や乳幼児やペットがいる世帯の多くは避難できませんでした。「みんなの避難所づくり」は誰もが避難しやすい場をみなでつくる、というものです。具体的には、段ボールベットやトイレに配慮した福祉コーナーや乳幼児やペットづれ向け

のスペースをつくり、トイレを水がなくても高齢者でも使えるよう工夫します。そのためにあると便利な用具をパッキングしているので、どこでも場所があれば防災トイレ、炊き出し、福祉コーナー、乳幼児コーナー、受付を開設できます。実際に9月3日には水海道中学校の生徒たちがこのキットを使い、避難者役もしつつ、みんなの避難所づくりを2時間体験しました。

トイレがつかえて充電もできて楽に横になれる、そして見守り役もいる、そういう環境を地域につくりながら、要配慮者にも避難訓練に参加してもらいたい。地域の人が実際に寝泊まりしながら、顔見知りになり、それぞれが何を持ち込めばさらにいい環境がつくれるかを考え環境を向上させていく、そういうことを積み重ねることで、早めにみなで逃げる行動につながり、人のつながりという地域の安心感をつくります。面識があれば人は助け合えますが、要配慮者リストだけではそれは困難です。「コモンズ」の意味は「みんなの広場」ですが、「みんなの避難所づくり」はまさにコモンズです。地域の事業所や施設も電車や電気がとまつたら臨時の避難スペースになるかもしれません。上記のことを体験しいざという時に何が必要かや、避難所運営を知っておけば、社員の方は、避難所で活躍できる人になるでしょう。社内で防災研修を検討する際には、地域の防災力を高めることや避難しやすい環境をつくることもぜひご検討ください。



3 防災グッズ体験ワークショップの様子



5 避難所開設訓練キット(ベット、トイレもあります)

9月 就職戦線レポート

2019年卒の傾向、そして2020年卒の展望

株式会社マイナビ 茨城支社
支社長 崔 正憲（さい まさのり）

PROFILE : 2006年新卒入社。

千葉県出身。入社から6年間茨城を担当。その後2年間の仙台、4年間の福島勤務を経て、2018年から再び茨城に支社長として戻り、新卒部門の責任者として日々奮闘中。

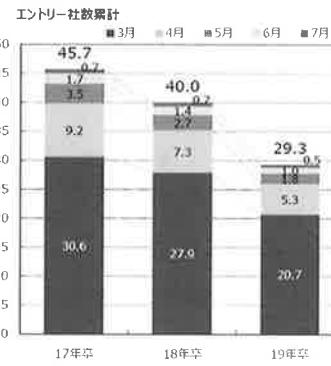
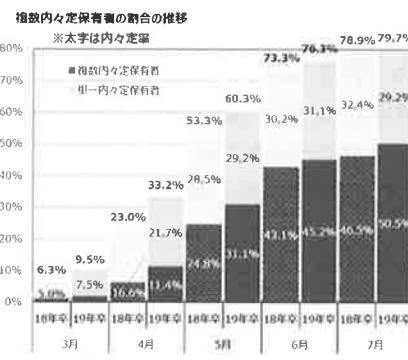
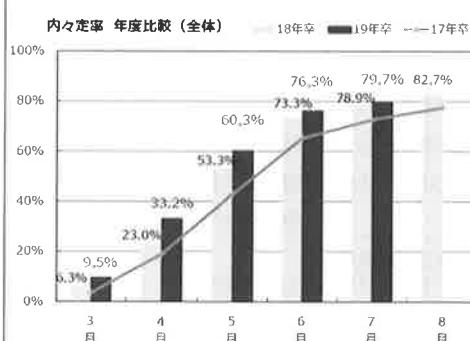
趣味：サッカー、読書



今年の猛暑には本当にまいっておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？

今月より不定期ではありますが、新卒就職戦線についてレポートを寄稿させて頂きます。よろしくお願い申し上げます。

新卒採用においては売り手市場と言われ数年が経ちますが、今年も同様にその傾向は続いております。まずは2019年卒についてデータから紐解き、昨年までとの違いや流れについて見てていきます。



7月末時点での内々定率は昨年と比較して0.8ポイントの微増となっていますが、注目すべきは4月、5月の内々定率です。昨年と比較すると4月で10.2ポイント、5月で7ポイントと大きく伸びております。複数内々定保有率も5月時点で、内々定保有者の半数となっており、学生及び企業の動き、選考の進み具合が早期化していることが見て取れます。逆に3月1日の広報活動解禁以降の学生1名当たりのエントリー企業数は、7月末時点で平均29.3社と、昨年と比較しても10.7社も減少しており、既に3月を迎える段階で学生がエントリーする（選考に進む）企業をより絞り込んで動いていることが見て取れます。即ち2月までにいかにその候補として自社を入れてもらえるかが、次年度においても重要となります。

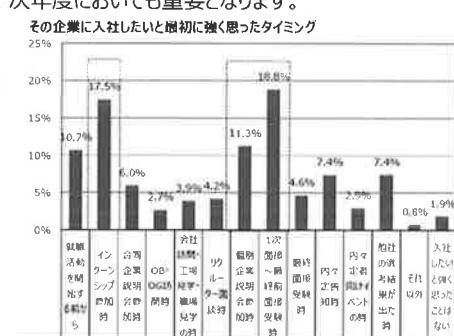
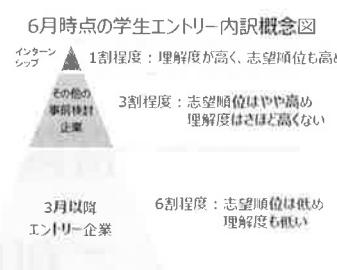
ただし、右図の通り学生のエントリー内訳概念図を見ると、インターンシップ参加企業は1割程度、事前検討企業が3割程度、残りの6割は3月以降のエントリー企業となっています。

入社したいと最初に強く思ったタイミング

では、「インターンシップ参加時」が17.5%と出ていますが、その他に「個別企業説明会参加時」、「1次面接～最終前面接参加時」を答える学生が多くいます。特に「面接」は「インターンシップ」よりも高く出ております。面接時の対応が志望度を高める上で重要な機会になります。まとめますと、内定者をしっかり確保するためには、以下の3つの要素が非常に重要となります。

- ①2月までの事前広報及びインターンシップへの参加、学生との接触。
- ②3月以降のエントリー者確保（特に3月上旬のエントリー者）。
- ③個別企業説明会、1次～最終前面接までの対応。

既に2020年卒向けの事前広報、インターンシップの受け入れも始まっております。特に10月以降の動きは大きなポイントなります。これからでもまだ間に合いますので、インターンシップの実施や、人事、面接官の育成、意識醸成を今からしっかりと行なっていきましょう。



データ出典：2019年卒マイナビ学生就職モニター調査（3月～7月）
2019年卒マイナビ大学生就職内定率調査（7月実施）

HITACHI
Inspire the Next

次の時代に、新しい風を吹き込んでいきます。

時代はいま、新しい息吹を求めて、大きく動きはじめています。

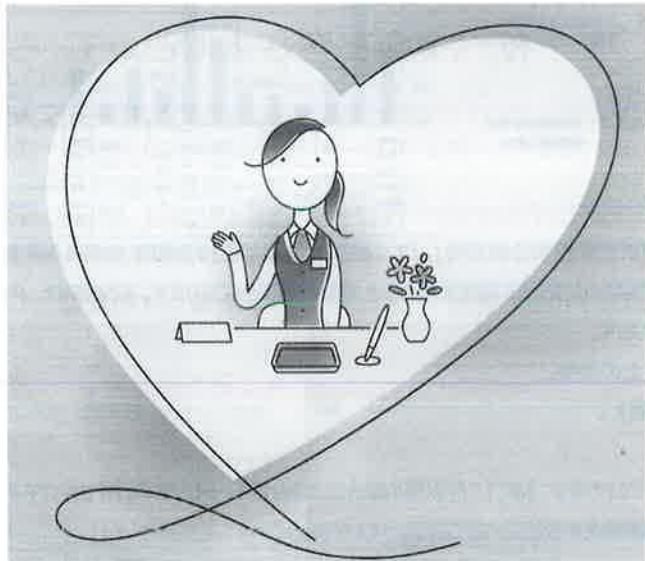
今日を生きる人々がいつも元気でいられるように、明日を生きる人々がいつもいきいきとしていられるように。

日立グループは、人に、社会に、次の時代に新しい風を吹き込み、豊かな暮らしとよりよい社会の実現をめざします。

日立の樹オンライン www.hitachinoki.net

株式会社 日立製作所 日立金属株式会社 日立化成株式会社 日立建機株式会社
株式会社 日立ハイテクノロジーズ 日立アプライアンス株式会社 日立オートモティブシステムズ株式会社

人に優しい銀行をめざして



常陽銀行はどなたにも
ご利用しやすい銀行を
めざしています。



常陽銀行

MEBUKI
めぶき ノイナンシャルグループ



サポート付き簡単オフィスWi-Fiサービス

ギガらくWi-Fi

ハイエンドプラン

Wi-Fiだからこそできる“便利な機能”にこだわりました。

オフィスで
便利なWi-Fiを



店舗で
便利なWi-Fiを



「Japan
Connected-
free Wi-Fi」
に対応しています。※

*「Japan Connected-free Wi-Fi」は、エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム株式会社(NTTBP)が提供する、無料Wi-Fiインターネットに接続することができるアプリです。

・Japan Wi-Fi連携機能(Japan Connected-free Wi-Fiアプリ)によりWi-Fiへ接続した場合、通信が暗号化されません。

お問い合わせは
こちら

NTT東日本 茨城支店 水戸営業担当

TEL 0120-973-601

受付時間 午前9時～午後5時(土日・休日・年末年始を除きます。)

K18-00675[1807-1807]

経営労務相談(無料)のご案内

当協会では経営労務相談の機能を強化し、会員企業様が抱える経営課題の解決に向けたサポート体制を整えております。

協会の顧問弁護士、社会保険労務士、税理士、経営コンサルタント等の各分野のエキスパートが様々な経営課題の解決に向けたアドバイスを致します。

開催日

毎週木曜日 ①10:00～12:00
(祝日は除く) ②14:00～16:00

会場

経営者協会・相談室
(水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館11F) 水戸駅南口より徒歩5分。

申込方法

下記TEL・FAXまたはE-mailにて各開催日の2日前までにお申込み下さい。

資金関係

未払い残業代を請求されたがどのように対応すればよいのか？

労働組合

従業員の一人が加盟した労働組合から団体交渉を申し入れられた。交渉にどのように向かえればよいのか？

助成金制度

人員整理を回避するためにはどのような方法があるのか？活用できる助成金制度について教えて欲しい。

人事労務

人事制度の変更を行うとしたが、従業員から不利益変更ではないかと訴えがあった。

精神疾病

メンタル不全の従業員がトラブルを起こしたがどのように対応すべきか？

その他

事業承継の問題、資金繰りの問題、経営に関するこの課題全般の悩みについて。

人事労務相談室
が総合窓口
(ワンストップ)

課題解決に
最適な専門家を
ご紹介



お問い合わせ：一般社団法人茨城県経営者協会 事務局(後藤)
TEL: 029-221-5301 FAX: 029-224-1109
E-mail: gotou@ikk.or.jp